

第1501回 ZC 訪問例会報告

2020年10月1日(木)12:15 岐阜グランドホテル 司会 L.川出正男

334 複合地区 スローガン

セカンドセンチュリー

組織と奉仕に魂を!

岐阜南ライオンズクラブ会長方針

温かき心を以って
たがいに手を繋ごう

334-B 地区 スローガン

「一歩前へ」まずあなたの一歩から…
そしてみんなで“ウィサーブ”

会長あいさつ

会 長 L.大島 恵子

例会プログラム

ゾーンチャパーソンのご入場 会員委員長 L.藤井利也
 開会ゴング 会 長 L.大島恵子
 国旗並びにライオンズ旗に礼
 ゲスト及びビジターの紹介 幹事 L.金森俊憲
 ライオンズクラブ国際協会334-B地区

第1R第3Zゾーンチャパーソン L.坪内弘俊(岐阜中央C)

第1R第3Zゾーンチャパーソン・アシスタント L.日比野慎二(岐阜中央C)

会長あいさつ 会 長 L.大島恵子

ゾーンチャパーソンご挨拶 ZC L.坪内弘俊

慶祝行事 10月誕生日祝い 幹 事 L.金森俊憲

1日L.可児 晃 2日L.臼井規郎 11日L.伊藤宏幸

11日L.中山雅博 12日L.藤田宜良 21日L.加藤 憲

〔食事懇談〕

卓話 「仏さまってなんでそんなに大勢いるの?」

光順寺住職 L.加藤 憲

幹事報告 幹 事 L.金森俊憲

委員会報告 各委員会

TT登場 L.伴 幸洋

出席報告 出席委員会

会計報告 会 計L.中村明常

次回例会のご案内 10月15日(木) 12:15~

〔健康管理例会〕 松波総合病院

閉会ゴング 会 長 L.大島恵子

ゲストのご退場 会員委員長 L.藤井利也



皆様こんにちは。

久しぶりに会員の皆様とお会いできて良かったです。
 今日にはまたゲストにZ CのL.坪内、Z C A のL.日比野
 のお二方をお迎えしてこれからのライオンズに対す
 るガバナーの心の伝達や例会に対するご指導がある
 と思いますので皆様どうぞ真剣にお聞きください。

ゾーンチャパーソンご挨拶 ZC L.坪内弘俊

皆さんこんにちは。皆さんにご挨拶を申し上げる前
 に、過日8月28日、篠井カライオンがご逝去された由
 謹んでお悔やみを申し上げます。

ただいまご紹介をいただきました、ライオン坪内で
 ございます。今期、第三ゾーンのZ Cを拝命いたしま
 した。今日は大変緊張いたしておりますが、とにか
 く第三ゾーンのお力になれるように、アシスタント
 共々一生懸命に努めたいと思います。どうぞ皆さん
 よろしく願います。

少し私どもの紹介をさせていただきます。私は岐
 阜中央ライオンズクラブ出身でございます。



2003年にブラザークラブの皆さんのご協力を得まして設立をさしていただいたクラブでございます。南ライオンズクラブの松波英一名誉顧問には、設立にあたりまして、多大なるご貢献をいただきました。またたくさんの方に、会員の紹介をいただきまして、今でも貴クラブの呉岡ライオンのお父さんそしてまた、ドクターの美濃和先生はまだ私どものチャーターメンバーとして席を置かしていただいております。また現会長であります私どもの野原会長ですけれども、彼も南ライオンズクラブの紹介だというふうに記憶いたしております。

2003年私は初代幹事として任命をされました、南ライオンズクラブさん確か会長さんが堀三三男ライオンだったというふうに今思っております。何もわからない中で、いろいろご指導いただきました。

続きまして2006年に会長を仰せつかりまして、会長のときに、南ライオンズクラブさんにクラブ訪問をさしていただきました当時は岐阜会館が会場でございます。本当にものすごい人に唖然として、今日もそうでございますけど、大変に足も震えた記憶がございます。当時は土本ライオンが、リジョンのパーソンだったというふうに思いますけども、3万ドルドネーションされた記憶がございます。また、会員の皆さんの中で海外の旅行を皆さんにご紹介をされていたことも記憶いたしております。

2018年松波英寿名誉顧問のキャビネットに参画をさせていただきました。ライオンズ情報委員長、そしてライオン誌のサポーターということで、大変なことばかりでしたけれども、皆さんの力を借りて、何とか1年終わることができました本当に今日も足が震えておりますけども、少しでもライオンズの深堀になれたかなということで、本当に心から感謝を申し上げております。特に豊田ライオン本当にご指導いただきましてありがとうございました。

前Z Cの福村ライオンには大変親しくさせていただきまして、前回市内8クラブのゴルフのコンペにご一緒させていただきまして、あまりの元気さにドライバーの飛距離もさることながら本当に素晴らしい足腰を持ちでございます、圧倒された感じでございます。

続きまして南ライオンズクラブの事業のアクティビティーについて少しお話をさせていただきます。

2018年ホームページをガバナーが78クラブ全部に自社のウェブサイトを用意するようというご指示をいただきまして、その関係もありまして、私もここにお邪魔する前に南ライオンズクラブさんのホームページを拝見させていただき、また過日のプレス懇談会の今期の事業計画等々も見させていただきました。本当に毎月まんべんなくたくさん素晴らしい事業を構成されている、本当に敬服に値する状況でございます。実は大島会長と面談する機会がございまして、アクティビティーは順調に進んでおりますという報告をいただきました。大変結構なことだなというふうには思います。またホームページを見る限りでは、例会の出席率も非常に高く本当に素晴らしい皆さん楽しい計画を実施されている印象でございます。

今コロナの関係で、メインのアクティビティーが中止という状況下の中で、大変に皆さん憂慮されている状況かだというふうに推察をいたしました。そんな中で残された期間、アクティビティーをいかにして遂行していくのかどんなアクティビティーがいいのかとも思います。皆さんのご意見をいただきながら考えていただかなければいかなければいけない現実かなという気がいたしております。

少し、現状のライオンズについて皆さんにご案内をいたします私は一応セットアップをしたのは6月15日リジョン会議が最初でございました。当時はガバナーもキャビネット会計もご指導をいただく中で進めていきましてこんな状況の中で一大イベントの、ガバナー公式訪問合同例会を中止されたらどうですかというような大変失礼なことを申し上げたんですけど、結果的には公式訪問合同例会でどうしても皆さんに挨拶をしたいというたつての要請でございましたので、順次準備を進めてまいったわけでございますけれども、結果的にはオンラインによるガバナー公式訪問合同例会でということに落ち着きました。これはリジョン単位でございます。

7月の15日第1回のZC会議がございましたがたまたま7月の初旬の豪雨災害による緊急の連絡会議が持たれました。岐阜県で言いますと、下呂ライオンズ、そして高山ライオンズクラブに対して地区として200万、援助資金を出そうということで決定をしました。その内訳についてはLCIFの資金の方から、約1万ドル、当時100万ちょっとだと思います、残りは地区のアラートの準備資金を使ってということでございます。

実はそれとは別に、大垣ライオンズクラブのスポンサーとしてレオクラブが年内には誕生するだろうということで、ガバナーも大変喜んでおられました。レオクラブ334Bについては初めてでございますので、大変喜んでおられた記憶がございます。続いて8月24日にガバナー諮問委員会を開催することができましたこれにはガバナーおよびキャビネット幹事もご出席をいただく中で、ガバナー方針等々について、皆さんにご案内があったかと今思っております。

ガバナー公式訪問例会は、ズームによるオンラインで開催をされました後YouTubeで配信されたようでございます。9月24日に第二回のZC会議が開かれました。前回200万の災害支援これがLCIFから、基金で10万ドル、日本に対して1000万強の支援が決定されました。ちなみに熊本県と、岐阜県ということになりますが、とりあえずのところは200万から増額を約80万、280万で決した様でございます。そのときに報告事項として、今年度中に、従来いろいろ懸案になっておりました暁ライオンズクラブさんと1リジョンの方から、チャーターナイトを実施するような運びになったというようなことございまして、各ZCの署名が欲しいということで署名をさせていただきました。そんなところが、皆さんに対する報告でございます。

奉仕活動について南ライオンズクラブさんは順調に推移されてるということで、各クラブが色々中止の

中で憂慮してる中でございますけども、順調に推移をされてるということで、ますます感心をいたしました次第でございます。

今期の最後になりますけど、カバナー方針を少し皆さんにご案内をしたいというふうに思います。

334B地区のスローガンセカンドセンチュリー組織と奉仕に魂を一步前へまずあなたの一步からそしてみんなWe serveということでございます。あと五つほど項目がございます

1番として、会員増強維持、GMT指導力育成、GLT奉仕活動、GST女性会員の増強、クラブ支部等の取り組みFWDの推進、これが1番です。2番目にLCIFへのドネーションということでございます。3番目に、青少年健全育成活動の実践実践ということで、4番目に臓器提供の推進、5番目に環境への取り組みの実践、以上が山本ガバナーの基本方針でございます。

3ゾーンにつきましては、とりあえずのところは、会員増強については、16人何とか目指して欲しいということでございまして、先日のZC会議でも報告がありましたけれども、現在10人の皆さんの会員増強が報告されておりますそして、LCIF献金につきましましては、今期は約3万8000ドルお願いをしたいということでございまして各クラブからLCIFに献金しようということもございまして、3万8000ドルに対して約3万7900ドル本当に99%目標に達しているというふうな状況下でございます。

大変皆さん長い時間お付き合いいただきましてありがとうございます。ZCのクラブ訪問は今日が最後でございます。そして、とても大事なものはZCの任務でございます。まだこれからコロナも含めて大変な状況が続くと思いますけども、どうぞ、大島会長を中心に行っている南ライオンズさんがますますご配慮されることそして皆さんの健康を祈念いたしまして、私の長い挨拶に代えさせていただきます。

どうもありがとうございました。

卓 話

光順寺住職 L.加藤 憲

「仏さまってなんでそんなに大勢いるの？」



卓話内容は報告書続きに記載してあります。

T.T 登場

T.T L.伴 幸洋

申告ドネーション

- 今日お起こしいただきましたZCの坪内大様より志をいただいております。ありがとうございます。
- L.中村明常 1,000円
市内8クラブゴルフ大会にて実力で飛び賞をいただきました。
- L.川出正男 2,000円
先日行われた市内8クラブライオンズクラブの親善この大会で見事2位でニアピン賞をいただきました実力は隠せないものです。昨日は誕生日を迎え、73歳になりました。
- L.村田慶治 3,000円
先日私、福祉の取り組みが岐阜新聞に載りましたそしてヤフーニュースにもまた載りました。それでまたついでに10月16日午後8時より岐阜放送で生放送出演するのでぜひ見てください。
- L.金森俊憲 3,000円
タイミングを逸し、今日になってしまいました。5月に引越しました。
- L.福村善光 6,000円
萩ヒガンバナコスモス、秋を感じます。先般の市内8クラブゴルフコンペでは、坪内ZCと同じ組で回らせていただきました。雨の中、私は赤マークZCは白マークでのスタート、激しいデッドヒートの結果、負けました。

【ご報告】

理事会・委員会等

- 10月14日(水)13:30 計画委員会
クラブ事務局
 - 10月14日(水)15:00 羽島LC合同例会打合せ
クラブ事務局
 - 10月15日(木)11:30 理事会
松波総合病院
- ライオンズクラブ国際協会・334-B地区・第1R・第3Z
- 10月1日(木)13:00 薬物乱用防止教育認定
講師養成講座
中濃総合庁舎

【ご案内】

理事会・委員会等

- 10月18日(日) 9:30 献血PR活動 マーサ21
- 10月31日(土)8:30 可児の明智城、妻木城の旅
趣味の会(ハイキング、旅行クラブ)
- 11月4日(水)13:30 計画委員会
クラブ事務局

ライオンズクラブ国際協会・334-B地区・第1R・第3Z

- 10月15日(木)13:30 GMT・GLT・FWT
セミナー
ウインクあいち
- 10月21日(水)13:30 LCIF セミナー
ウインクあいち
- 11月5日(木)18:00 本巣LC 訪問友好例会
本巣LC
- 11月19日(木)13:30 第二回キャビネット会議
キャッスルプラザホテル

会計報告 (ファイン・ドネーション) 会計 L. 中村明常

ファイン・ドネーション 72,000円

出席報告 出席委員長 L. 福村善光

正会員 69名 出席 54名

出席率 78.2%

【献血協力者】累計101,686名(9月末付)

【ライオンズレート】10月 1USドル=105円

次回例会のご案内

10月15日(木) 第1502回 健康管理例会
12:15~松波総合病院

岐阜南ライオンズ・ZC 訪問例会

2020年10月1日(木)

仏教基礎講座 「仏さまって何でそんなに大勢いるの？」

～4月2日結成63周年記念例会・奈良興福寺 国宝館見学にそなえて～

<目次>

①前置き

(1)『ライオンズ必携』 (2)仏教用語 (3)概念くだけ

②仏像・仏様の種類

③「十大弟子」

④「八部衆」

⑤阿弥陀如来とはどんな仏か？

<仏像の種類（如来・菩薩・明王・天）>

「仏像」は、仏教で信仰される「仏」の姿をうつした彫刻のことです。最初の仏像が作られたのは、釈迦が亡くなってから500年もあとのこと。それまでは、釈迦の足をイメージした「仏足石（ぶつそくせき）」や釈迦が誕生した時に咲いたという「蓮の花」などが崇拝の対象になっていました。

やがて紀元1世紀頃に、インドのガンダーラとマトゥラーという場所で、人間の姿をした仏像が作られ始めます。これが仏像の始まりです。現在、日本でよく見かける仏像は、基本的に次の4種類に分けられます。

①如来（によらい）

②菩薩（ぼさつ）

③明王（みょうおう）

④天（てん）

①「如来」には、おもに次の四つの種類があります。

(1)釈迦如来（しゃかによらい）

(2)阿弥陀如来（あみだによらい）

(3)薬師如来（やくしによらい）

(4)大日如来（だいにちによらい）

(1)「釈迦如来（しゃかによらい）」は、仏教の開祖・釈迦の姿をかたどった仏像です。

釈迦は実存した人物ですが「釈迦如来」は悟りを開いたあとの理想形。そのため外観にはいくつか特徴があります。髪は「螺髪（らほつ）」といい、丸い粒が均等に並んで渦巻きのようになっています。頭頂部が盛り上がった「肉髻（にくけい）」という、仏としての深い知恵を表現する形です。

両手は「印」を作り、右手は「施無畏印（せむいん）」といい人々の恐れを取り除くもの、左手は「与願印（よがんいん）」といい、人々の願いを聞き入れる印を作っています。

また釈迦如来の着ている衣に装飾がない点も、他の仏像との大きな相違点。釈迦如来は「悟りを開いた後」の姿のため飾りは不要とされているからです。お寺などに安置されている釈迦如来には、両脇に「脇侍仏」として「文殊菩薩（もんじゅぼさつ）」「普賢菩薩（ふげんぼさつ）」が従っていることがあります。

いわゆる「釈迦三尊（しゃかさんぞん）」の形式で、その場合も釈迦如来はシンプルな衣をまとい、両脇の菩薩は胸飾りや頭飾りをつけているので見分けがつきやすいでしょう。

(2)「阿弥陀如来（あみだによらい）」は、修業の末に悟りを得て「如来」になった姿の仏像です。

阿弥陀が修行のために立てた48個の大願のなかに、「念仏を唱えると極楽浄土に行ける」というものがあり、こ

れを信じる人々が「阿弥陀信仰」を奉じたことで盛んに信仰されるようになりました。阿弥陀如来は「西方極樂淨土」の主であり、「無量寿如来」「無量光如来」とも呼ばれます。外観は「釈迦如来」と同じく螺髪・両手の印・シンプルな衣をまとい、「阿弥陀三尊」の場合、「勢至菩薩（せいしぼさつ）」「観音菩薩（かんのんぼさつ）」が脇侍仏です。「勢至菩薩」が極樂往生を願う気持ちをおこさせ、「観音菩薩」が蓮の花をかたどった「蓮台（れんだい）」に人々を乗せて阿弥陀如来とともに極樂に連れていく、という役割です。

(3)「薬師如来（やくしにょらい）」は、修行を経て、人々を病から救うことができるようになった仏です。「東方瑠璃光淨土」の主であり、「医者之长」とも呼ばれます。外観は螺髪・両手の印・シンプルな衣と、如来に共通のものですが、薬師如来のみは、手に「薬壺（やくこ）」という小さな壺を持っています。

このなかに万病に効果のある霊薬が入っているとされてきました。「如来」という名のつく仏像で、手に壺を持っていたら「薬師如来」と思って間違いありません。ただし、奈良時代以前の薬師如来は薬壺を持っていないものもあるので、釈迦如来と区別がつきにくいです。日本では古くから病氣平癒を願って、多数の薬師如来像が作られました。とくに眼病に霊験があるとされ、熱心な信者の多い仏です。

(4)「大日如来（だいにちにょらい）」は、仏教界にある「金剛界」と「胎蔵界」の中心となる仏のこと。宇宙の真理をあらわす仏で、「密教（みっきょう）」というインド発祥と伝わる仏教のなかでは最高位にある絶対的な存在です。「如来」としては比較的華やかな外見をしており、身体には「宝冠」「瓔珞（ようらく・首や胸の飾り）」「臂釧（ひせん・二の腕の飾り）」「腕釧（わんせん・手首の飾り）」などを身につけているため、「釈迦如来」「阿弥陀如来」との違いがわかりやすい仏像です。「如来」と名がついていても、飾りが多くて頭に宝冠がついていれば、大日如来の仏像である可能性が高いでしょう。

②「菩薩（ぼさつ）」には多数の種類があり、たとえば「観音（かんのん）」は菩薩の種類のひとつです。ここではよく見かける四つの「菩薩」についてご説明しましょう。

(1) 聖観音（しょうかんのん）

(2) 十一面観音（じゅういちめんかんのん）

(3) 弥勒菩薩（じぞうぼさつ）

(4) 地藏菩薩（じぞうぼさつ）

「菩薩」とは、「悟りを求めるもの」という意味です。最終的に「如来」になることを目標にして、修行を積んでいる途中の「修行者」のこと。仏でありながら、修行中の身なのです。「菩薩」は仏教界の序列において如来のすぐ下の位にあり、如来の意志に従ってさまざまな姿に変わります。そのため女性のような姿をしていたり、頭上に顔がたくさんあったり、手が千本あったり、と多様な外観をもつのが大きな特徴。あらゆる方法で人々を救済するために存在し、単体でも崇拝されますが、「釈迦三尊」「阿弥陀三尊」のように、如来像の左右に脇侍仏（わきじぶつ）として配置されることもあります。

(1)「聖観音（しょうかんのん）」は、すべての観音の基本となる仏像です。広く信仰されている仏で「観音菩薩（かんのんぼさつ）」「観世音菩薩（かんぜおんぼさつ）」とも呼ばれます。人々の苦しみの声を聴いて救ってくれる仏で、あらゆる人々を救済対象としているため、広く信仰される仏です。外観としては、華やかな装飾品をふんだんにつけている点が大きな特徴。「菩薩」は修行中の釈迦の姿をモデルとしていると言われ、もともとインドの王子だった釈迦が悟りを開く前の姿なので、衣装・装身具が多いのです。そのため「聖観音」も、宝石を使った「宝冠」や上半身に巻き付けている細長い布「条帛（じょうはく）」、腰に巻き付けるスカートのような「裙（くん）」、肩にかけるショールのような「天衣（てんね）」をまとった姿になります。

(2)「十一面観音（じゅういちめんかんのん）」は、頭上に十一の顔を持っている仏像です。「変化観音（へんげかんのん）」と呼ばれる、さまざまな外見を持つ菩薩のなかでも、最も早い時期に形が成立したと言われている仏さま。頭上の顔はそれぞれ違う方向をむき、世界中をまんべんなく見つめて人間の苦悩をあまさずに救済する、と

いう意味から十一の面があります。それぞれの面には意味があり、慈悲をあらわす「菩薩面（ぼさつめん）」や怒りをあらわす「忿怒面（ふんぬめん）」など、感情豊かに表現される仏像。なお、十一面の一番うしろにある面は「大笑面（だいしょうめん）」といい、人間の愚かさを笑っている顔です。顔いっぱいでは笑っているという珍しいもので、通常の正面から拝観する場合は見ることはできませんから、機会があればぜひ後ろへまわってみましょう。

(3)「弥勒菩薩（みろくぼさつ）」は、仏の世界「兜率天（とそつてん）」で修業中の仏です。釈迦が亡くなったあと、56億7000万年後に人間界にあらわれて、人々を救済すると言われている重要な菩薩。いわば、釈迦の後継者的な存在の仏です。ただし、現在の弥勒菩薩は如来をめざして修行中であるため、「物思いにふける姿」で表現されます。坐像で、頬に手を当てて考えている姿の像が一般的です。

その静謐な姿・表情から人気の高い仏像で、日本では京都の太秦にある広隆寺（こうりゅうじ）の「弥勒半跏思惟像（みろくはんかしゆいぞう）」が「日本一うつくしい仏像」として有名。国内外からの人気が高い仏像です。

また奈良の中宮寺（ちゅうぐうじ）の「菩薩半跏像（如意輪観音像）」は、微笑をたたえたおだやかな表情で、飛鳥時代の「アルカイクスマイル」の仏像として広く知られています。

(4)「地藏菩薩（じぞうぼさつ）」は、釈迦が亡くなってからあと、弥勒菩薩が悟りを開いて人間を救いにやってくる56億7千万年後までのあいだ、人々を救う役目を持つ仏です。

菩薩の一体に数えられますが、インドの王族を象徴する菩薩の豪華な姿をイメージすると違和感のある、素朴な姿が特徴です。髪は他の菩薩のように高く結い上げる形でなく、修行僧のようなまろい坊主あたま。宝冠や首飾りなどの豪華な装飾品はほとんどなく、代わりに「錫杖（しゃくじょう）」と「宝珠（ほうじゅ）」を持っています。地藏菩薩は、路傍に立って子どもを守る仏として身近な仏像ですが、実は弥勒菩薩がやってくるまでの長い間、人間の世界を守り続ける役割を持つ重要な仏なのです。

③「明王（みょうおう）」も種類の多い仏像ですが、ここではよく知られている次の三つをご紹介します。

- (1)不動明王（ふどうみょうおう）
- (2)愛染明王（あいぜんみょうおう）
- (3)孔雀明王（くじゃくみょうおう）

「明王」は、如来の教えに従わないものを救済するために現れた仏です。

救いがたい人間や生き物を調伏するために、怒りの表情「忿怒相（ふんぬそう）」で仏教の教えを説いています。インドの宗教「ヒンドゥー教」が仏教に取り入れられて生まれた仏で、密教の中心である「大日如来（だいにちにょらい）」の化身だとされます。厳しく人々を導くために顔や手足の数が多かったり、手には武器や蛇などを手にしていたりするのが特徴です。

④「天」の仏像も、種類が非常に多いため、ここでは有名な3つをご紹介します。

- (1)帝釈天（たいしゃくてん）
- (2)阿修羅（あしゅら）
- (3)弁財天（べんざいてん）

「天」は、仏教に帰依した神々のことで、仏教の信仰をさまたげるものから人々を守る「護法」の役割がある仏です。自然現象を神格化した「風神」「雷神」なども「天」の仏で、他にも「四天王」や、「七福神」も「天」に含まれます。

「天」はインドの土着の神々をベースとしているため、バリエーションが非常に豊富。個性豊かな仏像が多いのも「天」の特徴です。

十大弟子

經典によって誰が十大弟子に入るかは異なるが、維摩經弟子品では出家順に以下の通りである。

1. **舍利弗**（しゃりほつ）パーリ語でサーリプッタ（Sāriputta）。サンスクリット語でシャーリプトラ（Śāriputra）。舍利子とも書く。**智慧第一**。
般若心經では仏の力を承けた観音菩薩の説法の相手として登場。また、阿弥陀經では仏の説法相手として登場するなど、多くの經典に登場する。
2. **摩訶目犍連**（まかもっけんれん）パーリ語でマハーモッガラーナ（Mahāmoggallāna）。サンスクリット語でマハーマウドガリヤーヤナ（Mahāmaudgalyāyana）。一般に目連（もくれん）と略称される。**神通第一**（じんずう・だいいち）。舍利弗とともに懷疑論者サンジャヤ・ペーラッティプッタの弟子であったが、ともに仏弟子となった。中国仏教では目連が餓鬼道に落ちた母を救うために行った供養が『盂蘭盆会』（うらぼんえ）の起源だとしている。
3. **摩訶迦葉**（まかかしょう）パーリ語でマハーカッサパ（Mahākassapa）、サンスクリット語でマハーカーシャパ（Mahākāśyapa）。大迦葉とも呼ばれる、**頭陀**（ずだ）**第一**。
釈迦の死後、その教団を統率し、第1結集では500人の仲間とともに釈迦の教法を編集する座長を務めた。禪宗は付法蔵（教えの奥義を直伝すること）の第2祖とする。
4. **須菩提**（しゅぼだい）パーリ語でもサンスクリット語でもスプーティ（Subhūti）。**解空第一**（げくう・だいいち）。金剛般若經等、空を説く大乘經典にしばしば登場する^[2]。
5. **富樓那弥多羅尼子**（ふるなみたらし）パーリ語でプンナ・マンターニープッタ（Puṇṇa Mantānīputta）、サンスクリット語でプールナ・マイトラヤーニープトラ（Pūrṇa Maitrāyaṇīputra）。略称として「富樓那」。他の弟子より説法が優れていた。**説法第一**。
6. **摩訶迦旃延**（まかかせんねん）パーリ語でマハーカッチャーナ（Mahākaccāna）、サンスクリット語でマハーカートウヤーヤナ（Mahakatyāyana）。**論議第一**。辺地では5人の師しかいなくても授戒する許可を仏から得た。
7. **阿那律**（あなりつ）パーリ語でアヌルッダ（Anuruddha）、サンスクリット語でアニルッダ（Aniruddha）。**天眼第一**（てんげん・だいいち）。
釈迦の従弟。阿難とともに出家した。仏の前で居眠りして叱責を受け、眠らぬ誓いをたて、視力を失ったがそのためかえて真理を見る眼をえた。
8. **優波離**（うぱり）パーリ語でも、サンスクリット語でもウパーリ（Upāli）。**持律第一**。
もと理髪師で、階級制度を否定する釈迦により、出家した順序にしたがって、貴族出身の比丘の兄弟子とされた。
9. **羅睺羅**（らごら）パーリ語でも、サンスクリット語でもラーフラ（Rāhula）。羅雲とも書かれる。**密行第一**（みつぎょう・だいいち）。
釈迦の長男（ラーフラ）。釈迦の帰郷に際し出家して最初の沙弥（少年僧）となる。そこから、日本では寺院の子弟のことを仏教用語で羅子（らご）と言う。
10. **阿難陀**（あなんだ）パーリ語でも、サンスクリット語でもアーナンダ（Ānanda）。阿難とも書く。**多聞第一**（たもん・だいいち）。
釈迦の従弟。nandaは歡喜（かんぎ）という意味がある。出家して以来、釈迦が死ぬまで25年間、釈迦の付き人をした。第一結集のときアーナンダの記憶に基づいて經が編纂された。120歳まで生きたという。無量壽經等に仏の説法相手として登場する。かなりの美男子だったので、かえて悩みがあったと伝えられる。

八部衆（はちぶしゅう）または**天龍八部衆**（てんりゅうはちぶしゅう）は、**仏法**を守護する8**神**。仏教が流布する以前の古代**インド**の鬼神、戦闘神、音楽神、動物神などが仏教に帰依し、**護法善神**となったものである。**十大弟子**と共に**釈迦如来**の眷属を務める。

天（Deva、てん）梵天、帝釈天を初めとする、いわゆる「天部」の神格の総称。**欲界**の六天、**色界**の四禪天、**無色界**の四空処天のこと。光明・自然・清浄・自在・

最勝の義を有す。古代インドにおける諸天の総称。天地万物の主宰者。

龍（Naga、りゅう）「竜」、「竜王」などと称される種族の総称。蛇を神格化したもので、水中に棲み、雲や雨をもたらすとされる。また、釈尊の誕生の際、

灌水したのも竜王であった。人面人形で冠上に龍形を表す。

夜叉（Yaksa、やしゃ）古代インドの悪鬼神の類を指すが、仏法に帰依して護法善神となったもの。空中を飛行する。

乾闥婆（Gandharva、けんたつば）香を食べるとされ、神々の酒ソーマの守り神とも言う。仏教では帝釈天の眷属の音楽神とされている。インド神話における**ガンダルヴァ**であり、ギリシア神話における**ケンタウロス**と同源であると推定されることからインド・イラン共通時代よりもさらに**印欧祖語時代**に起源をさかのぼる。

阿修羅（Asura、あしゅら）古代インドの戦闘神であるが、インド・イラン共通時代における中央アジア、イラン方面の太陽神が起源とも言われる。

通常、三面六臂に表す。

迦樓羅（Garuda、かるら）**ガルダ**を前身とする、竜を好んで常食するという伝説上の鳥である。鷲の如き獐猛な鳥類の一類を神格化したもの。

緊那羅（Kinnara、きんなら）音楽神であり、また半身半獣の人非人ともいう。人にも畜生にも鳥にも充当しない。仏教では乾闥婆と同様に帝釈天の眷属とされ、

美しい声で歌うという。

摩睺羅伽（Mahoraga、まごらが）緊那羅とともに帝釈天の眷属の音楽神ともいう。または廟神ともいわれる。身体は人間であるが首は蛇である。龍種に属す。

大蛇（ニシキヘビとも）を神格化したもの。

南無阿彌陀仏とは、日本語に訳したら「お前、心配なくともよいよ、お前は必ず仏になることに間違いない。お前を仏にできなかったら私は仏にならんのだ」と言うことです。我々がどんなに愚痴を申し上げたっていつも如来様は同じことを言われます。「心配ない。必ず仏にする。」私共はこのお言葉に自分たちが助かっていく証拠をいただけるのであります。

仏さまの言葉はいつでもひとつです。「お前は本当の命になる。お前は死なない命の中に生きている」ということだけをおっしゃっているのです。それ以外に仏さまの言葉は別にありません。

往相回向と還相回向

阿彌陀さまの回向が貫徹され成就されたら、二つの大きな命の流れになります。ひとつは往相回向で、これはお浄土に生まれていく命の流れということです。衆生がこの世の命を超えて本当の命の世界に生まれ、仏にさせていただくことです。しかし往相回向が成就したら、それで世界が終わるわけではありません。極楽へ行ったらすべての終わりではなく、お浄土からこの現世へ、まだ仏に成れないで迷っている人々を救うために還ってくるのです。

大峰顕著『本当の言葉に救われる』
百華苑刊 2017

『本当の命を生きる』
百華苑刊 2016

『誓願の不思議』
百華苑刊 2000

みほとけさまって どんな おかた
みほとけさまって どんな おかた
みほとけさま みほとけさま いくら おさがししても おすがた みえない
みほとけさま みほとけさま いくら お呼びしても お声が 聞こえない
じーっと静かに 眼をとじた じーっと静かに 手を合わせた
小さな口から 小さな 小さな声が出た なもあみだぶつ なもあみだぶつ
みほとけさま いらっしゃった みほとけさま みつけた
かなしいときも うれしいときも
いつでもおそばに いらっしゃる どこでもおそばに いらっしゃる
みほとけさま みほとけさま なもあみだぶつ

作詞：小池玲子さん(浄土真宗本願寺派教證寺(山口県)・佐山保育園長)

作曲・歌：ちひろさん(主に真宗讃歌の歌手)